



2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月29日

上場会社名 株式会社ギックス 上場取引所 東
コード番号 9219 URL <https://www.gixo.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 網野 知博
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 岩田 夏希 TEL 03 (3452) 1221
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績（2024年7月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	540	3.8	△81	—	△81	—	△59	—
2024年6月期第1四半期	520	—	68	—	68	—	43	—

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 △59百万円 (—%) 2024年6月期第1四半期 43百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	△10.66	—
2024年6月期第1四半期	7.75	7.67

(注) 1. 2025年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

2. 当社は、2024年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	2,251	1,899	82.7
2024年6月期	2,352	2,011	84.1

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 1,861百万円 2024年6月期 1,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	27.00	27.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	26.50	—	27.00	53.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,890	36.5	153	14.3	151	13.5	105	19.1	18.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期1Q	5,581,574株	2024年6月期	5,581,574株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	130株	2024年6月期	130株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年6月期1Q	5,581,444株	2024年6月期1Q	5,581,233株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(追加情報)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド消費の拡大や大手企業を中心とした賃上げをはじめとした雇用・所得環境の改善を背景に回復傾向がみられました。一方で、世界的な金融引締めや円安によるコスト負担増加・物価上昇もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いています。そのような中、各企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進は、データ活用による業務効率化やAIアルゴリズム実装に対する需要を高めていると考えております。また、政府が人工知能（AI）等の最先端技術を社会課題解決に活かす「Society5.0」の一環として、DX推進を目的としたデジタル庁の創設等もあり、ビッグデータの活用やAIアルゴリズム技術等の社会実装を目指す機運がますます高まっております。

このような環境の下、当社グループは「あらゆる判断を、Data-Informed（データインフォームド）に。」をパーパスとして掲げ、業績拡大を目指しております。当社グループの掲げる「データインフォームド」は、データを用いて論理的に考え合理的に判断することで、人間による意思決定の精度を高め、事業運営における再現性を高めることを狙いとしております。データインフォームドな判断をクライアント企業の各種業務に組み込むことで、業務における判断の精度が向上し、経営課題解決及び競争力強化が実現されます。当社グループは、このような“人間が判断の主体となる”ことを前提にしたデータ活用を推進する「データインフォームド市場（DI市場）」をターゲット市場と定義し、クライアント企業のニーズに合わせてDIコンサルティング・DIプラットフォーム・DIプロダクトの3つのサービス（総称：DIサービス）を柔軟に組み合わせて提供しております。そのような中、当社グループは2023年8月、中長期的な成長を見据え、『2026年6月期：売上高40億円』を中期目標として掲げました。

当社グループは、これまで注力してきた『「4つのケイパビリティ」と「3つのサービス」をベースにした一気通貫のサービス提供』、『既取引部門・取り組み中の領域におけるDIサービスの利用継続・拡大及び同社内の新規領域へのDIサービスの提供（縦横展開）』、『アセット活用の継続的な強化活動』等を継続していきます。それと同時に、中長期的な成長に向け、新規クライアント開拓及び協業型ビジネスの立ち上げや、顧客理解の深化によるサービスの高付加価値化、データ最上流である基幹システムの再設計・再構築等を通じ『ビジネスモデルの転換』を推進していくこととし、本年7月にこれらを目的とした新組織も創設しました。加えて、既存事業領域の成長加速に向けたM&Aも積極的に実施していきます。

当第1四半期連結累計期間においては、中長期に向けたさまざまな施策を通じて新たなビジネスモデルの確立に向けて強力に推進しており、成果も出始めています。本年8月に神戸市で導入された都市OSで提供される地域サービス「子育て支援スタンプラリー」に、当社のミッションクリア型コミュニケーションツール「マイグル」が活用されています。また、本年9月、西日本旅客鉄道株式会社が提供する訪日中国人向け観光型MaaS「西日本旅游攻略 tabiwa」に当社提供のAIエンジンが採用されました。M&A領域においても、本年8月に株式会社GROWTH VERSEへの資本業務提携を締結、9月にはフォトコンテストサービス「Comecon（カメコン）」事業を譲受しました。これにより、ミッションクリア型コミュニケーションツール「マイグル」の販売経路の拡大、及び、施策バリエーションの強化による提供価値の向上を目指します。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は540,482千円（前年同期比3.8%増）、営業損失は81,502千円（前年同期は68,545千円の利益）、経常損失は81,860千円（前年同期は68,572千円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は59,482千円（前年同期は43,233千円の利益）となりました。

なお、当社グループはData-Informed事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,020,837千円となり、前連結会計年度末に比べ205,779千円減少いたしました。これは、売掛金及び契約資産が226,620千円増加した一方で、現金及び預金が459,201千円減少したこと等によるものであります。固定資産は230,686千円となり、前連結会計年度末に比べ104,854千円増加いたしました。これは主にのれんが24,583千円、投資その他の資産が75,139千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、2,251,523千円となり、前連結会計年度末に比べ100,924千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は316,608千円となり、前連結会計年度末に比べ11,224千円増加いたしました。これは、1年内返済予定の長期借入金12,501千円減少したものの、その他流動負債が27,194千円増加したこと等によるものであります。固定負債は35,299千円となり、前連結会計年度末に比べ59千円増加いたしました。これは資産除去債務が59千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、351,908千円となり、前連結会計年度末に比べ11,283千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,899,614千円となり、前連結会計年度末に比べ112,208千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失59,482千円及び剰余金の配当57,872千円によるもの等であります。

この結果、自己資本比率は82.7%（前連結会計年度末は84.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期業績見通しにつきましては、当第1四半期連結累計期間の実績が見通しに沿って推移しているため、以下の通り、2024年8月14日に公表した業績予想から変更はありません。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2,890百万円	153百万円	151百万円	105百万円

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。今後業績予想に修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,772,349	1,313,147
売掛金及び契約資産	409,844	636,464
その他	44,421	71,224
流動資産合計	2,226,616	2,020,837
固定資産		
有形固定資産	48,919	54,065
無形固定資産		
のれん	—	24,583
その他	232	218
無形固定資産合計	232	24,801
投資その他の資産	76,679	151,819
固定資産合計	125,831	230,686
資産合計	2,352,448	2,251,523
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	45,817	33,316
未払法人税等	8,525	5,056
その他	251,042	278,236
流動負債合計	305,384	316,608
固定負債		
資産除去債務	35,240	35,299
固定負債合計	35,240	35,299
負債合計	340,625	351,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	286,133	286,133
資本剰余金	1,158,459	1,158,459
利益剰余金	534,876	417,521
自己株式	△250	△250
株主資本合計	1,979,219	1,861,863
新株予約権	32,603	37,750
純資産合計	2,011,822	1,899,614
負債純資産合計	2,352,448	2,251,523

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	520,833	540,482
売上原価	299,552	414,401
売上総利益	221,280	126,080
販売費及び一般管理費	152,734	207,583
営業利益又は営業損失(△)	68,545	△81,502
営業外収益		
受取利息	9	136
雑収入	164	—
営業外収益合計	174	136
営業外費用		
支払利息	147	90
雑損失	—	403
営業外費用合計	147	494
経常利益又は経常損失(△)	68,572	△81,860
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	68,572	△81,860
法人税、住民税及び事業税	21,447	2,104
法人税等調整額	3,892	△24,482
法人税等合計	25,339	△22,377
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43,233	△59,482
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	43,233	△59,482

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43,233	△59,482
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	43,233	△59,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,233	△59,482
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2023年9月30日)

当社グループは、Data-Informed事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年7月1日至2024年9月30日)

当社グループは、Data-Informed事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日)
減価償却費	1,897千円	2,341千円
のれんの償却額	—	416

(追加情報)

(財務制限条項)

当社は、2020年5月27日付で、株式会社りそな銀行との間で「金銭消費貸借契約」を締結しております。

この契約には下記の財務制限条項が付されております。これに抵触した場合は、本契約上の全ての債務について期限の利益を喪失する可能性があります。

(1) 純資産維持

各連結会計年度の決算期の末日における当社の純資産の部の金額を前年同期比75%以上に維持すること。

(2) 利益維持

各連結会計年度の決算期の末日における当社の損益計算書において、2期連続して営業損益、経常損益、当期最終損益の全てをマイナスにしないこと。

当該契約に基づく借入金残高は33,316千円であります。